夕刊
一月八日
定價 一ケ月金六拾五錢 郵税共
廣告料金 特殊欄 一段一行金九拾錢 特殊欄 一段一行金六拾錢 普通欄 一段一行金五拾錢 但定期契約一割引
編輯兼發行人 磐城新聞社 福島縣磐城郡平町大字平字本町六番地
印刷人 竹田町十六番地
發行所 磐城新聞社
仙台支社 仙台市北目町五番地
電話 五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

滿蒙問題に就て

郷土出身一將校（寄）

（四）

二、中立地帶

租借地の北方蓋州河、瓦房店に至る線以南の土地で此地帶内には支那の軍隊は日本の同意を得なければ入れることが出來ない。

三、南滿洲鐵道附屬地

南滿線と安奉線との兩側の鐵道用地（平均六十二米）と其途中に所々に膨張附着せる市街用地とである。

其面積は僅かに十六方里である、此地域内に於ては條約に依りて海龍、吉林、北滿裁判權及外交事務は日本領事に軍事は關東軍指令官に警察は關東長官に其他の一般行政は滿鐵社長に屬しておる。

四、南滿鐵道

資本金四億四千萬圓を投じたる我國の滿蒙發展の骨幹をなしておる重要なる鐵道である。

是も露軍より讓與せられたるもので當時露支間の取定めは『全線開通日より八十年間の所有權を有し期限後は無償にて支那に交付すべく又前記の日より起算し三十六年の後には支那に於て買ひ戻し得る權利を有す』と云ふことになつておる、然し乍ら此期限内の買收の如きは我滿蒙經營の基礎を危くするものである大正四年の日支交渉により之を九十九ケ年間に延長し且買收の權利を與ふるの一項を抹殺させたのである。

然し支那の排日論者は此條約は日本の脅迫威壓の結果不本意乍ら調印したものであるから今日我々は之を認めぬ從て期限延長も無効であるし買收權も持つてお緊確以て之を支持しなければならぬ秋である。

滿鐵の經營は最近迄は頗る順調に進み毎年の純益七千萬圓内外に上り其成績は内外人の等しく賞讃する所であつた。然るに數年來支那が此日本の利益を取つて南滿線と安奉線との兩側の鐵道用地（平均六十二米）依つて滿鐵に平行線は出來ないことになつて居るのであるが打通線を開通し吉海線を敷設して全く支那鐵道方面の物産を集め更に第一第二、第三幹線により胡蘆島に軍事は關東軍指令官に警察は關東長官に其他の一般行政は滿鐵社長に屬してやらぬ計畫を立てた。

やうと考へたのか條約に平行線は出來ないことになつて居るのであるが打通線を開通し吉海線を敷設して全く支那鐵道方面の物産を集め更に第一第二、第三幹線により胡蘆島に軍事は關東軍指令官に警察は關東長官に其他の一般行政は滿鐵社長に屬してやらぬ計畫を立てた。

やうに、何うか立派にやつて呉んねへよ、サア別れの盃をし樣』と是から形ばかりの盃をしまして、時の北町奉行石谷左近將監貞清のお役宅へ駈け込み訴へをする、門前まで送つて來た橋場の喜太郎と川越の萬助御門前に立つて樣子を窺つてゐると、三五郎 三『お願ひでございます』と飛込む、此の時代には如何なることがあつても、奉行所へ直接訴へ出ることはならない、先づ町役人に願ひ、町役人付にする、親分の顔の汚れねへ

計劃的に企圖して居る以上其將來は極めて多端となるべく今や滿鐵問題は單なる滿鐵當路者の問題として見るべきものでなく國民一致緊確以て之を支持しなければならぬ秋である。

『月曜の公園』

宮本正名

月曜の
朝の公園
靜かだよ
皆學校。

ぽろぽろと
木肌落して
頬白が
こぶに集かけた。

陽に映えた
背だよ紫
楢の木の
寒い木立よ。

戯歌鈔

（三）

島田忠夫

○大津町『末廣』に半玉居りて〆太と呼ぶ
幼より甚だ不幸なりと。某氏曰ふ、島田君、この〆太の爲め腰折歌を作りて將來の多幸を祝福し給へと乃ち作りて

いばらきの
大津の濱にはしきやし里芋の如き面の
娘は居て
あしびきの山に堀りつる山芋ののつべりとしたる
愛しき乙女
八ちまたの果物店の林檎より赤き頬かも水鼻も出
て
下心繼もあらざれば食氣のみ支那喬麥が來れば支
那喬麥を喰ふ
つくづくと見ればおかめに似たりけり笑福福し目
をなくしつつ
こんな具合で此のまゝ推移したならば漸次滿洲鐵道は難局に陥る計りである支那側にして條約を無視して滿鐵の經濟的死命を制して果不本意乍ら調印したものであるから今日我々は之を之を自滅に陥らしめようと

柵の中
のうが未だ居て
冷たそな
お鼻して居た。

時代警語

○丸くとも少しは角のあれや人、あまり丸きは轉び易けれ（古歌）人は或る程度迄平和を守るべき責任を有するものである、然れども一旦自己の見識に相違ふものなれば斷々乎として之を拒否して進むべきである、其の爭ふに當つては威武に屈すべからず、大衆に拘るべからず、將又親疎の別を問ふべからざである……

拈華微笑

◇陣中通信既掲六十數通。符節を合した奉公の赤誠。感激其物だ

◇一と月に三萬四千屯減。之丈けの景氣あるのが寧ろ不思議な位

◇女教員會創立。郡下一脈かな會合とならう

◇久し振りに點滴わびしい日。

○……○

絶えぬもの。濱の眞砂と盜人と

社會の今日

○かの翁猶生きて來し年賀かな　波空

講談

俠艷 女長兵衛

東京 斯波南叟

（魚崎潮畫）

（一〇三）

其頃の男伊達町奴は木で竹を割つたやう、サッパリとしてゐて命を投出して働く……敷島の大和心を人問はば、朝日に匂ふ山櫻花……と云ふ歌は日本人上下を問はず、心の上に流れてゐた血の誇りでございます、何も此歌は武士の志しを歌つたのではない、日本人は皆此の通り、然るに……花は櫻木人は武士……などと武士の占有の樣に心得て居るのは大間違ひ、現に町奴ろ』と戸の外へ押出す……男伊達の心に失れが流れて居た事でも判る、扨て橋場の喜太郎と川越の萬助は三五郎の話しに感奮し 喜『イヤそれでこそ俺達の兄分だ

只今でごらうじろ其んな物騒な奴は押返すどころか、ドン〳〵引つ張り込んで終ふ…橋場の喜太郎、川越の萬助が遠くから、お取上げ……』長『マア能く考へる』萬『お頼みでございやす』長『考へて又相談する！』決心は極まつて居るが斯う云はなくては此場が納まらない、是れで長兵衛は向島へ出掛けます。

何しろ長田の一條を早く片付けなくちやア、どうすることも叶はねへからなア』喜『是非どうか其處を……』長『マア能く考へる

になつた樣子をスッカリ見屆けて置いて立歸り、是れを長兵衛に報告に來た、長兵衛是れを聽き涙を流して感じ入つた 長『あゝ三五郎は然うした量見であつたか子分ながら見上げた心底、併し子分を殺して俺が何んで平氣な面で居られよう志しは充分受けるが知らぬ顔で罪を受けさせる譯にはならない、三五郎氣の毒だが三四日は牢屋の臭い飯を食つて居て呉れ、人殺しの大罪よりや自ら名乘つて出たにしろ、三日四日で首を取られる氣支ない、長田の一條を寺西に賴み、引受けて呉れゝば今日にも名乘つて出てお前は無事で牢から出してやるからなア』と歎息しつつ氣の毒がると、橋場の喜太郎 喜『親分そりやアいけねへ、親分が名乘つて出なさりやア、兄貴の折角の志しが無駄事になつちまう、わつち達でせへ身代りにやつて呉れと口まで出たが、兄貴の堅い志しに感じて、立派に親分へ恩返しをしてやつて呉れと云つた位だ、親分の氣象ぢやア自分のしたことを人になすり付けるなア辛からうが、其處が親分子分の間柄ぢやア在りませんか、親分に出られちやアわつち達が兄貴に面目ねへ』萬『何うか親分これ許りは三五郎兄貴の顔を立つてやつて呉んなせへ！』と右左から止める……心の美しさに長兵衛愈々感心し、涙を流して喜んだが去り迚長兵衛の決心は迚も

添ひで出なくては成らない直接に出るのを差越し願ひは相成らぬ、退れ〳〵』と云つて ボ役人が 役『差越し願ひは相成らぬ、退れ〳〵』と云つて ボ役人が 小『差越し願ひは駄目此の通り、然るに……花役人が 小『差越し願ひは駄目だ、願をもつて願ひ立てるのは大間違ひ、現に町奴ろ』と戸の外へ押出す……

ラヂオ

……九日（土曜）……

仙台 JOHK

△前七、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△一〇、三〇 趣味講座（日清戰爭當時の支那兵）江見水蔭
△正午 A 時報
△後〇、〇五B 吹奏樂 大阪市音樂隊
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇A（子供の時間）おどりのおけいこ（子供のテキスト特選童話舞踊振付とお話）花柳珠實
△六、三〇A 運動講座（ラグビーの早わかり）河西三省
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、三〇A 滿蒙事情特別講座（支那の條約無視）法學博士齋藤良衛
△八、〇〇A 浪花節（牧野彌右衛門）木村重友
△八、五〇A 管絃樂 日本放送交響樂團
△九、四〇A 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告 積雪量

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先ニ（松崎ニ）
三九二タクシーへ
（デンワ、ミクニ）

吉田眼科病院
平町紺屋町

度量衡。計量器。
吸入用酸素。
酸素吸入器。
關内藥局
電話四〇番

御料理三品付
上酒一本、藝妓二本ニテ
壹圓五拾錢 何卒舊ニ倍シテ
御光來ノ程ヲ
（一月一日ヨリ向フ二十日迄）
四倉町元山ノ湯 沖見亭

御披露
御料理三品付
上酒一本、藝妓二本ニテ
壹圓五拾錢 何卒舊ニ倍シテ
御光來ノ程ヲ
（一月一日ヨリ向フ二十日迄）
四倉町元山ノ湯 沖見亭

恭賀新年
四倉行乘合組合
電話新設御披露
スグイクヨ
電話五九四番

夜診療間
胃腸
科 内
十二指腸虫病
專門
内科部
梅毒
淋病
皮膚病
婦人病
專門
外科部
松村醫院
胃腸性病科
（平南町電話一〇七番）

蜂ブドー酒
ともすれば
胃腸を害し易い秋です
必ず召上れ
毎食前 蜂の一杯を！
一杯よく胃液の分泌を促して消化を助け
絶大なる效能力を有して
胃腸
の弱き人に推奨いたします
蜂ブドー酒
（ブドー酒）
福島縣磐城郡平町

お醬油は……ヤマフル
鹽屋
味噌醬油
たひら正宗
鰹節 食料品
山崎合名會社
福島縣平町
電話（營業部一〇番 本店二七番）

耳鼻咽喉科專門
日本醫大院長醫學士 鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科科長醫學士 鈴木喜政
下谷區入谷町二九一
入谷改正通り東交番前
鈴木醫院

りしん病
こしけ
永らく病む人の福音
天下の名湯別府溫泉で出來た（無効返金責任藥）
登錄商標 別府熱帶
全國知名新聞雜誌推奨 朝日、東京日日、大阪毎日、富士、講談倶樂部、主婦之友廣告乞御參照
右は岩里家古來より家傳秘法藥にして男女血ウミ慢性淋病コシケ消渴の痛みは不思議に止り連服すると絶對胃腸障害なき名藥であります。尚は此の藥は責任速効藥で二日内服して効無き時は殘藥引換に全部異議なく返金します、論より證據服藥した人は皆全快喜んで居られます。
慢性、惡性頑固性の人は七日以上服用して下さい
美本淋病治療書無代進呈（此の新聞名記入申込者に限）代金引換廿三錢手數料前納の事、前金申込者には送料無料送藥す。
藥價……急性 黑箱 一週分 金三圓
慢性、惡性用 赤箱 一週分 金五圓
平町古銀治町一〇
特約一手販賣 阿康藥舗
縣社の下（電話四四番）

本社の慰問に對する謝狀一束

滿洲から

假令骨は粉になるも 銃後の支援に副ふ覺悟

烏合の勢にはビクつかぬと

三坂村出身　關場義臣君

——御鄙重なる新聞をば御御座いません、かかる國民が背後に居る事はどんなにしては重ねて御禮申上ます、御社の御後援に對し有難く拜讀して居りまして何日も樂しく有難く拜讀して居りまして私達に力强い事でせう、必ず、私も事變突發するや直ちに各地に出動し又幾回かの戰闘に參加しました、一命無きものと思ひしも幸に今日まで無事元氣に國防の第一線に立ち働いて居る事が出來ます、何卒御安心下さい、固より一身一家を忘れて國防の第一線に立つからは骨は粉になるも奮戰致します、敵は幾萬ありとても烏合の勢にて驚くにはあたりませんが寒さが强いので弱りました今や

全國民が愛國心を以て御慰し下さいます

この滿洲の平和な日には何とて御禮の申上樣も章旗を掲げる事でせう。

今度は中隊だから 鐵砲が擊てる

勿來町出身　安島春雄君

——御送り下さる新聞は有難く頂戴致して居ります、大隊にありて第一線です、大隊本部は中隊の直後にありますが彈を打つ事が出來ます、次に小生は其後奉天に於て休養中でありましたが又一せんのので何だか身の引ける思ひでしたが今度は大いに出動します、今迄の戰闘にやれると思へば

◇何だか嬉しさを覺へは小生の

◇働きが足りない　爲かます、各地よりの慰問品と身に徽傷も負ひませんでしたが今度こそは諸君の御期待に添ふ樣活動したいと思ひます、小生は今迄大隊本部に居りましたが今度は中隊にありて第一線です、大隊本部は中隊の直後にありますが彈を打つ事が出來ます、次に小生は其後奉天に於て休養中でありましたが又一せんのので何だか身の引ける思ひでしたが今度は大いに出動します、今迄の戰闘にやれると思へば

◇何だか嬉しさを覺へ

◇働きが足りない　爲かます、各地よりの慰問品と身に徽傷も負ひませんでしたが今度こそは諸君の御期待に添ふ樣活動したいと思ひます、小生は今迄大隊本部に居りました

不具の身乍ら 社會に貢獻し度い

小川村出身　富谷汎君

——數てより御社の慰問の新聞をいたゞき故郷の狀況を知り專心治療を受け一刻も早く帝國の爲二度戰場に出動し多數先靈者の仇を討ち東北男子の意氣を中外に發揚して皇運の扶翼に邁進するの覺悟でありましたが武運つたなく今回の負傷の爲二度戰場に出る事を得ず後は戰友に賴み彼の地を離れ目下廣島の衛戍病院に轉院治療を受けつつあります後は不具者の身を以て社會のため盡す覺悟であります、御社の御後援に對しては重ねて御禮申上ます、海軍病院の御挨拶迄早々。

意氣旺なり

上遠野村出身　西牧友好君

——此の度は御慰問狀並に毎日新聞を拜受致し誠に有難く厚く御禮申上ます、海を渡り北滿の地にて郷里の報を知る事の出來るのは全く御社皆々樣の御厚情と只々感謝の次第です此の度の事變については種々御心痛する事と思ひます

遺族救慰義金募集

明日から街頭で

在平旬刊有志及東京毎夕、茨城日報の兩日刊關係者から成る在平記者聯盟では在郷軍人郡聯合分會、同平分會、町役場後援の下に九、十の二日間午前八時から午後四時迄平驛前及常磐銀行前の二個所に於て郡內出身戰死者遺族救慰の義捐金を募集し最近局の郵便貯金として湯本、玉川、江名、小名濱四ヶ町村の該當者に贈る筈であると

入團者出發

鈴木高久村長引率

郡下入團者二十數名は高久村長鈴木喜太郎氏に引率され明九日午前八時四十五分發上り列車で横須賀へ出發する

拜戴願

平第三小學校の御眞影奉安庫は客月中完成し御眞影と勅語謄本拜戴の日を鶴首しつつあるが一月中に拜戴し二月十一日の紀元節に奉拜し得る樣縣教育課に出願した

師走の一ケ月丈で 三萬四千餘噸減

依然不振の常磐送炭高

昨年最終の常磐炭山元發送旬報によると客臘二十一日より三十一日に至る十一日間の發送高は

（營業用）三、五〇一車四千五百九噸の減となつてゐる、尚は月計に於ては營業六、一〇四噸（省用）一、用四萬二千二百七十一噸の減、省用七千九百五十六噸七七〇車二六、三三一噸の增で合計三萬四千三百十（合計）五、二七一車七五噸の減である

二、四二五噸

で前年同期に比し營業用一萬八千九百四十八噸を減じたる反對に例により鐵道用は二千四百三十九噸を增したので結局に於ては一萬六千餘噸の減である

平町適齢者

合計百七十四名

平町に於ける本年度の徴兵適令者は昨年より六名減の百七十四名中所在不明四、在學四二、死亡一、國外三名で病者三である

求職兒童は悉く 適性檢査を受けよ

最得意な方向へ進めと 平職紹で各小學校へ注意

今春小學校を巣立つ求職兒童は郡下を通じ約一千名に上るものと豫想されてゐるが右は平町職業紹介所を經る表立つた分丈けで此外父兄直接に就職口を開拓する連絡學校以外の兒童が之亦少からざる數に上るが之等は何れも性能檢査其他兒童の適性に關する檢査を欠くが爲に往々にして甚だしく不向な方面の職に從事する場合があり兒童の將來に對して少からぬ不利益を招く事あるので深く茲に鑑みた平町の紹介所では此際求職兒童は連絡學校以外のものも同所に就て適性の檢査を受け、より得意なる方向を目ざして進むべき官數千枚の注意書を印刷し郡下各小學校に配布した、尚は最近は男子の就職難に加へ女子の進出著しく之が紹介に大努力を拂つてゐるが卒業期日も愈々迫つて來たので來週土曜日頃には小學校指導員の會を催す模樣である

第三小學校兒童義捐金

凶作地へ送附

過ぐる第三區校長會で決定した區內小學校の北海道、青森縣の凶作地救濟義捐金募集は部會に於て取纏め中であつたが平第二小學校を除き左記の如く全部取纏り近く發送する事となつた

（圓以下略す）

飯野—一三圓、好間—二四圓、好間第—五圓、平由—五圓、平第三—一二圓、第三—一四圓、內郷第二—一三圓

組合が自費で 浚渫作業を行ふ

小名濱港順調に進む

小名濱築港は工事順調に進行し既に二分の竣功で內務省關係の分は目下築堤工事を急ぎつつあるが縣工事は十二月末を以て六年度事業に決定し昨七日組合代表が出縣サンド喞筒の借入其他から七年度繼續事業として一先す打ち切り四月初めに就て折衝する處あつた

郡下二百五十餘名の 女教員統制機關

縣の慫慂で近く創設

郡內の女教員は二百五十餘名に及んでゐるが單り平町を中心とする第三區に於て教員會の設立方を通牒して來たので來十一日の郡內校長會に於て之を協議する事となつた

難破船の救助に 薄磯消防の活動

乘組員十二名も無事

小名濱町大字米野中野鐵之れ薄磯海岸一浬の處まで吹き寄せられ轉覆せんとした所を有發動機船水主丸（二五噸）に船長以下十二名がのので乘組員が大聲を上げブ乘込み今曉二時半頃出漁のリキ鐵を亂打して救を求め途中豐間村鹽屋崎燈台二浬たのを薄磯消防組員が聞き隨時唱歌、遊戯、裁縫、料理等の講習を催し來つた外長會に於て之を協議する事之を統制する何等の機關なく又職務の研究修養其他に

夜祭りの青年殺し 豫審終結決定

近く平支部で公判

昨年九月十八日夜二箇山夜祭りの歸途上小川村地內縣中の處昨七日豫審終結決定道で平窪村青年明智行雄（二福島地方裁判所の陪審公判）を鋭利な短刀で背部より突き刺し死に至らしめた赤井村大字鹽田鈴木清政（三三）に係る殺人事件は平支部で公判を開く事となつた

自轉車乘り大怪我

磐崎地內の自動車事故

湯本町片寄朝男所有自動車取調べを行つた

民政派總會　石城民政部會では十七日倶樂部で總會を開き役員の改選を行つて來た上遠野村大字深山田吉田長藏（三三）に衝突して跳ね飛ばし顏面其他に全治三週間の重傷を負はせたの時から總會を開催し事業計で今八日齋藤警部補が出張劃豫算決算を附議した

車輪の下から大音響

遣し物の發火管から

白晝街上の一軟尖

草野村農新妻豊が昨七日午後二時頃荷車を牽いて平町の下から一大音響を發したので當人の驚愕は勿論附近の人達も現場へ駈けつけたが何れも其の原因が解らず揉ぎの裡に平署に屆け出たので當人の驚愕は勿論附近の人達も現場へ駈けつけたが何れも其の原因が解らず揉ぎの裡に平署に屆け出たので早速取調の結果目下聚樂館で開演中のレビュー團一行が使用する發火管がどうした調子か往來へ遺失したものと判明した

學校襲はる

第一で製圖器盜難

平第一小學校手工教室の鍵が破壞されてあるのを今八日朝教員が發見內部を調べた所製圖器其他紛失してゐたので其旨平署へ訴へ出た

勸業主任會議　勸業取締所久之濱支所では十二日午前十時から同所で勸業主任會を開催し產業實行組合桑園改植事業に關して協議すると

平署寒稽古　平署では明九日から午前午後の二回に

各地情痴

△神戸市　湊西區南逆瀨川一丁目池田勝一の妹看護婦田中なか（三四）は同家二階奥座敷六疊の間でモルヒネを嚥下し苦悶してゐるのを家人が發見直に手當の結果一命を取止めた、原因は昨年二月淺川三角公園前の出た强姦罪として取調べ中

△福岡縣　戸畑市相生町姦を見暴力を以て當の花を散らし八月初旬迄數十回に亘り關係を强要したのでよし子は遂に所轄署に訴へ

△京都府　熊野郡久美濱町字十樂料理業多田達之助つけ郎（五三）は內縁の妻仲居大手よし（三八）が昨年三月病で死後ナカの頸部外數ヶ所を斬り畑署へ自首して出た

△京都市　一條千本東右本某方の下女野口とみ（三六）高木忠次郎妻千代（四四）は評月下旬姪大手好子（三）の寢刺の醫妻であつたがどうしたものか去る四月頃市內六乞食商賣中を大津署員に逮捕された

△岡山縣　兒島郡味野町パン製造販賣業山田義夫內縁の妻難波好子（二）は同町共に西陣署へ姦通罪で告訴さる

△滋賀縣　石川町國分丸山寅吉（三三）は此程初旬刑務所出所以來家に寄りつかず乞食をしていたが去る八月十七日瀨田建部神社の盆踊りの際歸つてゐた瀨田町橋本某方の下女野口とみ（三六）は同町共に西陣署へ姦通罪で告訴

△東京市　京橋區木挽町二橋本撞球場のゲーム取後奥座敷六疊の間でモルヒネを嚥下し苦悶してゐるのを家人が發見直に手當の結果一命を取止めた、原因は昨年二月淺川三角公園前の出た强姦罪として取調べ中

△福岡縣　戸畑市相生町共に西陣署へ姦通罪で告訴さる

△神戸市　湊西區南逆瀨川一丁目池田勝一の妹看護婦田中なか（三四）は同家二階奥座敷六疊の間でモルヒネを嚥下し苦悶してゐるのを家人が發見直に手當の結果一命を取止めた、原因は昨年二月淺川三角公園前の出た强姦罪として取調べ中

△福岡縣　戸畑市相生町共に西陣署へ姦通罪で告訴さる

△滋賀縣　石川町國分丸山寅吉（三三）は此程初旬刑務所出所以來家に寄りつかず乞食をしていたが去る八月十七日瀨田建部神社の盆踊りの際歸つてゐた瀨田町橋本某方の下女野口とみ（三六）は同町共に西陣署へ姦通罪で告訴

△東京市　京橋區木挽町二橋本撞球場のゲーム取後奥座敷六疊の間でモルヒネを嚥下し苦悶してゐるのを家人が發見直に手當の結果一命を取止めた、原因は昨年二月淺川三角公園前の出た强姦罪として取調べ中

△福岡縣　戸畑市相生町共に西陣署へ姦通罪で告訴さる

△神戸市　湊西區南逆瀨川一丁目池田勝一の妹看護婦田中なか（三四）は同家二階奥座敷六疊の間でモルヒネを嚥下し苦悶してゐるのを家人が發見直に手當の結果一命を取止めた、原因は昨年二月淺川三角公園前の出た强姦罪として取調べ中

△福岡縣　戸畑市相生町共に西陣署へ姦通罪で告訴さる

十瀧口好久（三）

東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　館主　神誠

舊十二月二日　土曜　己巳　失勝　定　柳宿

一月九日

諸判定應需

外務員招聘

千年式精米補助器
千年式瓦斯節約器
日の出レデスタール
千年式アルコールコンロ

特約店

希望者は十日、日浚迄申込みあれ。採用後は一週間り講習を授く。

平町應匠町八番地　面會人　小川嘉久榮

（但し此の廣告は一回とす。十日後の申込みは拒絶す）

使へば使ふ程書きよくなる

ウエル萬年筆　一月特賣會

金一圓五十錢以上のウエル萬年筆御買上げの御客樣へ洩れなく景品進呈

平町字撥槌小路　文愚堂　文愚堂　文愚堂

電話三一三番

營業所開設

倍舊の御引立相仰き度奉懇願候

芳醇銘酒

白馬の雪

平町二丁目一一　白馬の雪營業所

辰の口本家　松本德一

電話（五四六）二八五　營業所本店

診察時間繰上

◎受付　午前七時より

◎宅診　午前八時より

但し急患者は此限りに非ず

難波醫院

醫學博士　難波睦

平町新川端（釜屋新宅向）

電話五〇二番

內科一般

（入院需に應ず自炊の便あり）